2013 年 7 月 10 日

各 位

会 社 名　　株式会社 資 生 堂
代表者名　代表取締役会長 兼 執行役員社長
前田 新造
（コード番号 4911 東証第 1 部）
問合せ先　　広報部長　斉藤 幸博
（TEL. 03-3572-5111）

生産性向上を目的としたオフィス機能の集約と効率化について
～新本社屋「資生堂銀座ビル」オープン～

資生堂は、2013 年 10 月 2 日（水）に、地上 10 階・地下 2 階建ての本社社屋「資生堂銀座ビル」（所在地：東京都中央区銀座 7-5-5）をオープンします。これは、本社旧社屋（1966 年竣工）の建替えによるもので、新しい社屋は、オフィス機能を中心に、多目的ホール、商業スペースなどを有します。

また、このオープンにともない、生産性の向上を目的に都内に分散しているオフィス機能の集約と効率化を推進していきます。

「資生堂銀座ビル」について

資生堂は、「日本をオリジンとし、アジアを代表するグローバルプレイヤー」を目指し、新たな成長に向けたさまざまな取り組みを進めています。このなかで、資生堂の美意識の原点である創業の地「銀座」において、未来に向けた新たな価値の創造と、ブランド力の強化を推進すべく、「資生堂銀座ビル」を、クリエイティブ機能を有する部門を集約した「価値創造拠点」と位置づけます。

「資生堂銀座ビル」は、ワークプレイスとして 6 階から 10 階の 5 フロアを使用するほか、多目的ホール「資生堂花椿ホール」、肌に深い悩みを抱える方にメーキャップアドバイスを行う美容施設「資生堂ライフクオリティー ビューティーセンター」、フランス料理店「ロオジエ」及び外部テナントで構成します。

同ビルの基調となるデザインには、資生堂を象徴する「花椿」、「唐草模様」を採用しています。建物全体を覆うアルミシェードは、一つひとつが、「未来」へ向かい伸びゆく様をかたちにしたオリジナルデザインの「未来唐草」から構成され、並木通りにモダンな流麗さを与えます。

また、新社屋には、環境対応として、屋上緑化を行うとともに、環境性能の高い資材の使用や設備を導入し、旧社屋に対して約 30%の CO_2 削減を図ります。（建築環境指標「CASBEE（キャスビー）」で最高の S ランクを取得）

オフィス機能の集約と効率化について

「資生堂銀座ビル」のオープンにあたり、都内に分散しているオフィス機能（子会社含む）を 3 つの本社拠点（資生堂銀座ビル、汐留オフィス、汐留 FS ビル）に集約し、部門の再配置を行うとともに、 一部の施設を閉鎖します。

「資生堂銀座ビル」には、宣伝制作部、企業文化部をはじめ、子会社「株式会社 資生堂パーラー」（所在地：中央区銀座）などが 2013 年 10 月上旬より順次入居します。その後、近隣のビルに賃貸入居する 2 つの子会社を「汐留オフィス」に集約します。

さらに、2014 年秋に、「資生堂五反田ビル」（所在地：品川区西五反田）を閉鎖し、ここに入居する「資生堂ビューティークリエーション研究センター」を含む複数の部門を汐留 FS ビル（所在地：港区東新橋）」に配置します。これら一連のオフィス再編は、2014 年秋までの完了を目指し、都内の当社のオフィス面積を約 10%削減するとともに、外部への賃貸収入を含めたオフィス賃料を改善します。オフィス関連総コストは、新社屋の建設及びオフィス再編にかかる投資及び費用のため一時的に膨らむものの、2015 年度は 2012 年度並み、2016 年度以降はコスト低減を見込みます。



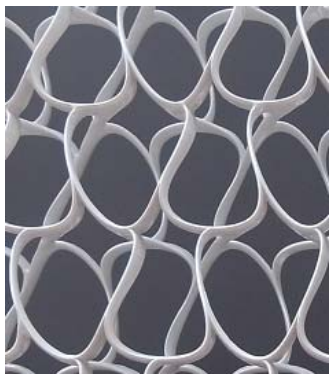
＜資生堂銀座ビル　外観＞



＜資生堂銀座ビル　1 階　エントランス＞

＜建替えの概要＞

【敷地面積】　約 1,116 ㎡
【建築面積】　約 939 ㎡
【延床面積】　約 9,957 ㎡
【高さ】　約 48m
【階数】　地上 10 階・地下 2 階
【構造】　鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造
【容積】※1　基本容積率 700%＋緩和容積率 100%＝800%
【用途】　（主要用途） 事務所
（従用途） 店舗、集会場
【耐震性能】　制振構造を採用（建築基準法に定められている耐震レベルの 1.5 倍）
【環境対応】　外装アルミシェードによる断熱対策、LED 照明による消費電力の削減、太陽光発電や自然換気による自然エネルギーの利用、最新の冷暖房システム「輻射空調」※2 導入。「CASBEE（キャスビー）」で、最高ランクの S ランク取得※3。
【設計施工】　株式会社 竹中工務店
【工事期間】　2011 年 12 月～2013 年 7 月（予定）



＜未来唐草ｲﾒｰｼﾞ＞

※ 1 「機能更新型高度利用地区」の定める「公共的屋内空間」を確保し、緩和容積率 100%の適用を、銀座地区で受けました。（容積率の算出には駐車場等の面積は含みません）

※ 2 輻射空調について：天井面を空調空気で冷却（または加熱）し、「輻射効果」を利用して冷暖房を行う方式。

※ 3 「CASBEE（キャスビー）」について：建築環境総合性能評価システム。省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステム。

本件が 2014 年 3 月期の当社の連結業績に与える影響は、軽微であります。

以　上

参考資料

【「資生堂銀座ビル」に入居する主要な施設について】

「資生堂ライフクオリティー　ビューティーセンター」(5階)	
	●あざや濃いシミ、白斑(＊)、傷あと、くすみなど肌にさまざまな問題を抱えている方を対象に適したメーキャップ技術をレッスンする施設。2006 年 6 月開設。多くの方の QOL(クオリティー オブ ライフ:生活の質)向上を目的に専門の教育を受けたスタッフが無料でアドバイスを行う。 http://group.shiseido.co.jp/slqc/ ●2013 年 10 月 22 日(火)より、現在の「資生堂五反田ビル」から移転再開 (＊)白斑:皮膚のメラニン色素が脱失する、原因不明の疾患

「資生堂花椿ホール」(3階)	
	●会議やセミナー、シンポジウムなどを開催する多目的ホール。ホール面積は、295㎡、最大席数は机を設置した場合、210席(机105台、椅子210台)、椅子のみの場合240席。電動昇降式稼動間仕切壁を採用。主に、資生堂グループ主催の会議、イベント等に使用。

「ロオジエ」(エントランス・地下 1 階)	
L'OSIER	●資生堂が経営するフランス料理店。1973 年に銀座中央通りの旧資生堂パーラービル内にオープン。店名は銀座にゆかりの深い「柳」(仏語で L' Osier)に因んで命名された。1999 年 10 月に銀座並木通りの現在地に移転した。食という生活文化を通じて新しい価値を提案。 http://losier.shiseido.co.jp/losier ●2013 年 10 月 25 日(金)より営業再開。

「ロロ・ピアーナ銀座並木通り本店」(1・2階)	
Loro Piana	●ロロ・ピアーナ(Loro Piana)は、6 世代に渡りエクセレンスの探求を続け、世界最高級の原材料とMade in Italy のアルチザン(職人)の技を用いてメンズウェア、レディスウェア、キッズ、アクセサリー、ギフト、エクスクルーシブなメイド・トゥ・オーダー　サービスを展開、ラグジュアリーなライフスタイルを提案する。 ●2013年秋開店予定。

創業の地「銀座」の 3 つの拠点

資生堂は、銀座における情報価値の受発信拠点として、2001 年に「資生堂パーラー」、「資生堂ギャラリー」などが入居する「東京銀座資生堂ビル」を開業、2011 年には、総合美容施設「SHISEIDO THE GINZA」をオープンしました。花椿通りを挟み向かい合うこの二つの拠点は、資生堂の「美」の「最先端」と、「食文化」、「芸術文化」を発信する場として、国内外の多くの人びとが集い憩う銀座のランドマークとして親しまれています。

そして、今回、並木通りに面した本社新社屋「資生堂銀座ビル」がオープンし、創業の地「銀座」に 3 つの拠点が銀座に揃うことで、資生堂グループのミッションである「美しい生活文化の創造」の実現にむけ、新たな価値創造に取り組んでいきます。